

# 令和6年度 学校評価に関するアンケート

学校評価の一環として、1月に保護者・生徒を対象とした学校教育に関するアンケートを実施しました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

評価得点は、4、3、2、1点で中央値が2.5点となります。評価項目はともに14項目あり、①～⑬の内容は、保護者と生徒の質問内容をリンクさせてあります。

保護者評価項目		平均得点	生徒評価項目		平均得点
1	生徒は、学校生活を楽しく送っている。	3.62	1	わたしは、学校生活を楽しく送っている。	3.68
2	生徒は、授業に真剣に取り組んでいる。	3.62	2	わたしは、授業に真剣に取り組んでいる。	3.46
3	生徒は、学校での様々な活動に意欲的に取り組んでいる。	3.58	3	わたしは、学校での様々な活動に意欲的に取り組んでいる。	3.27
4	チームティーチング(複数の教師による授業)やAET(アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー)による授業は、基礎・基本の定着や実践的なコミュニケーションの伸長に役立っている。	3.35	4	チームティーチング(複数の教師による授業)やAET(アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー)による授業は、基礎・基本の定着や実践的なコミュニケーションの伸長に役立っている。	3.25
5	生徒は、総合的な学習の時間で取り組んだ体験活動や講演会を、将来の生き方を考える際に役立っている。	3.30	5	総合的な学習の時間で取り組んだ体験活動や講演会を、将来の生き方を考えるときに役に立つと思う。	3.39
6	生徒は、生徒会活動(委員会活動、各種ボランティア活動、各種募金、エコキャップ回収など)に積極的に取り組んだり、協力したりしている。	3.26	6	わたしは、生徒会活動(委員会活動、各種ボランティア活動、各種募金など)に積極的に取り組んだり、協力したりしている。	3.08
7	生徒は、部活動に積極的に取り組み、仲間とともに練習に励み、頑張っている。	3.35	7	わたしは、部活動に積極的に取り組み、仲間とともに練習に励み、頑張っている。	3.42
8	生徒は、学校行事において、仲間との協力や団結を大切に、精一杯の力で取り組んでいる。	3.68	8	わたしは、学校行事で、仲間との協力や団結を大切に、精一杯の力で取り組んでいる。	3.59
9	学校は、生徒のよいところをほめ、いけないところを注意する等、適切に指導している。	3.45	9	先生たちは、生徒のよいところをほめ、いけないところは注意している。	3.53
10	学校は、登下校をふくめて健康・安全についての指導を適切に行っている。	3.51	10	先生たちは、登下校をふくめて健康や安全について適切に指導している。	3.63
11	学校は、生徒の悩みや相談に誠意をもって対応している。	3.49	11	先生たちは、生徒の悩みや相談にのったり誠意をもってこたえたりしている。	3.54
12	校内は、清掃が行き届き、きれいな環境である。	3.47	12	校内は、清掃が行き届き、きれいな環境である。	3.31
13	学校は、富士通信や学年通信、きずなネットやタブレットPCなどで情報提供を適切に行っている。	3.63	13	富士通信や学年通信、タブレットPC(ロイロノートの連絡)などの情報は、学校生活のために役立っている。	3.53
14	学校は、保護者からの連絡や相談に適切に対応している。	3.59	14	わたしは、授業の内容を理解している。	3.31

保護者・生徒ともに14の評価項目について、平均得点が3.0点を下回る項目はありませんでした。特に、①の平均得点が保護者・生徒ともに高いことから、生徒たちが楽しく充実した学校生活を送ることができていることが分かります。また、⑧の項目も高いことから、体育大会や合唱祭などの学校行事や、1年生の市内分散学習、2年生の稲武野外学習や職場体験学習、3年生の修学旅行などの学年行事において、当日だけではなく、そこに至るまでの過程を、仲間とともに協力しながら取り組んでいたことが分かります。他には、昨年度に比べると、保護者・生徒ともに⑩の項目が高い数値でした。朝の登校時における教職員の見守り活動や、育友会の方とともに実施する「あい・あい・あいさつ運動」といった取組の成果であると考えています。生徒アンケートでは、⑨⑩の項目も高い点数でした。これは、日頃から教職員が、「子どもの伴走者」であるという意識をもちながら子どもたちと関わっていることが影響していると考えています。

一方、生徒アンケートで数値が昨年度より低かったのは、⑤の項目でした。3年間を通して「生き方について考える」をテーマに取り組んではいますが、生徒が自分の生き方について考えを深めるには不十分であったことが課題であると考えています。キャリア教育の一環として開催している様々な職業人を招いた講演会を、来年度も引き続き開催し、より体系的なキャリア教育を計画することを通して、改善を図っていきたくと考えています。保護者・生徒ともに数値が低かったのは⑥の項目でした。校則改定など、生徒会が主体となって取り組む活動が様々ありましたが、生徒会の活動に対して自分事として捉えられる生徒が少なかったのかもしれない。自分たちの学校は自分たちで創り上げるという意識を高めていくためにも、日頃からリーダーとフォロワーの育成に注力していく必要があると考えています。

保護者・生徒アンケートの結果を、貴重なご意見として真摯に受け止め、来年度以降の教育活動に生かしていきたいと思っております。